

福津市まちづくり基本構想の 策定について

賛成少数で否決

市長は今後のまちづくりの指針となる「まちづくり基本構想（案）」を策定し議会に議決を求めた。議会は全議員による特別委員会を設置し、平成30年12月5日（水）議案審査を行った。

審査の結果、特別委員会では、可否同数で委員長採決により可決となった。12月11日（火）に行われた本会議では、委員会報告が行われ、討論のち採決では賛成少数により否決した。

主な本会議討論

反対 議会は市民がよりよい生活ができるよう、夢を語り合い実現に向けて決定していく場である。夢とは政策である。本議案において、市長は夢を語っていない。

福津市基本構想の議決に関する条例第2条の定義では、基本構想とは、市が総合的かつ計画的な行政運営を図るための指針とすることがあるにもかかわらず、総合的かつ計画的な行政運営の指針となっていないのか疑問であり、世の中の動きを的確にとらえる視点が欠けている。

賛成 平成28年7月3日から始まった基本構想は、首長の交代もあり、期間を延ばしての策定となった。その間、郷づくりとの意見交換会、庁内の分野別ワーキング会議、市民・職員アンケート、そして、市民参加のふくつ未来会議を経て、審議会へ諮問されている。審議会では、パブリックコメント中に、基本構想について語り合う会を開催するなど、今までにない策定過程を踏んで市民への説明責任を果たしている。また、基本方針の中に「子どもの権利を守り」とうたい込まれ、子ども自身の育つ力を育む子育て支援が盛り込まれている。

反対 「税金の大幅な増加が期待できない一方、扶助費や公共施設の維持更新費が増加することにより、市の財政運営は厳しさを増すことが予想されるが、暮らしやすいの向上を図り、一人一人が生きがいを持てる地域社会をつくることが重要です」とあるが、具体策がない。そのことは、将来市民へのしわ寄せを強いることになる。

審議会において、市のことをよく知らないということ遅れたとあり、また審議会が5回あった中で、審議委員10名の全員が出席した審議会は、1度もなかった。

SDGsの目標年2030年にあわせ検討されたテーマ別の取組み方針、基本方針となっているが、国の方針であることをわかつていても、市長自身があまりにも説明できない状態では、職員の混乱を招くと考へる。

賛成 七つのテーマが掲げられているが、子どもにかかわる部分では、審議の中で子どもを中心に据えるということを確認した。

健康で生き生きと暮らせるま

ちについては、今の状況の中で、健康を市の役割、市がつくっていくとされていることを確認した。地域づくりでは、今進めている郷づくりなど、市が主体的に進めていくということを確認した。本来の地方自治体の果たすべき住民福祉の向上という基本的な役割が明記されている。

反対 郷づくりは自治会が基軸とあるが、現在市が進めている広報配布を民間業者に委託することは、自治会脱会者を加速する可能性がある。基本構想と反する施策となる。

健康については、100歳までも元氣な施策とあるが、70代以降の介護や福祉について触れていない。諸施策は基本構想の議決をいただいたら作成すると答弁だが、文言として方針や概要を入れることに意味がある。基本構想としては不十分である。

平成30年度一般会計補正予算 35億352万円を追加し

総額 257億7884万円

共働のふるさとづくり

寄附金事業費

返礼品等の費用を増額する

1338万円

公共施設等総合管理基金

公共施設等維持修理及び解体等を計画的に進めていく上で必要となる経費の財源に充てるもの

33億円

地域交通体系整備事業費

津屋崎線等一部路線変更が必要になったため

131万円

人権対策一般管理費

宗像保護区保護司会が平成31年1月活動拠点として更生保護サポーターセンターを開設するため、運営経費等の一部を財政支援するもの

24万円

河川改良事業費

西豎川冠水被害対策の護岸改修

35億352万円を追加し

を計画的に実施していくもので、工事用地購入の用途が立つたため予算化するもの

666万円

小学校校舎施設整備事業費

福岡南小学校次年度教室不足対応のため改修を行うもの

125万円

中学校校舎施設整備事業費

福岡中学校次年度教室不足対応のため改修を行うもの

951万円

古墳公園建設事業費

豪雨による土砂崩落が生じた新原・奴山13号古墳に国庫補助の採択を受け事業費が確定し原状復旧補修工事を実施するもの

1404万円

農業用施設災害復旧事業費

豪雨により、土砂崩落が発生し

た施設のうち、国庫補助対象の施設事業費確定で原状復旧補修工事を実施するもの

896万円



復旧中の13号古墳

人事案件に同意

《教育委員会委員》

いまむら いまむら

今村 尚敏 氏

任期 平成30年12月12日から

平成32年4月6日まで

陳情

臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書

移植ツーリズムを考える会

九州事務局 担当 寺崎 太

平成31年度理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてのお願

公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇

「後期高齢者の窓口負担の見直し」にあたり、原則1割負担の継続を求める意見書採択についてのお願

福岡県保険医協会 会長 林 裕章

学校教材の計画的な整備促進についてのお願

一般社団法人 日本教材備品協会 会長 大久保 昇

「主要農作物種子法」廃止に関わる市町村議会での意見書採択のお願

自主・平和・民主のための広範な国民連合・福岡 代表世話人 久保山 教善

地域分別資源ゴミ収集と広報配布についての陳情書

代表 田中 収

小澤 文夫